第３回オープンハウス型地域説明会（全体説明併用）の概要

■実施概要

（１）目的

・地域に開かれた意見交換の場としてオープンハウス型と全体説明型を併用して実施することで、本整備に興味関心のある施設利用者、公園利用者、地域住民等の多様な立場からの意見を把握し、新施設・新公園に反映すべき事項の検討材料とする。
・基本計画（素案）について説明し、理解を深めていただく機会とする。
・本整備におけるこれまでの検討経緯（整備構想含む）、これからの進め方を周知する。

（２）実施概要

・日時　　：① 2026 年 6 月 28 日（日）10:00～15:00
　　② 2026 年 6 月 29 日（月）15:00～20:00
　　※参加者によって参加しやすい日時が異なるため、同じ内容で休日日中、平日夜間の２回を設定
・会場　　：ちよだパークサイドプラザ　７階
・方法　　：オープンハウス型（開場の時間内であれば任意に入場・退場可）と全体説明型の併用方式とし、パネル・模型展示、スライド投影を行い、担当者による説明・意見交換を実施、意見交換内容はふせんに記録した。
　　各日 30 分程度の全体説明を実施（6/28（日）10:30～11:00、6/29（月）16:00～16:30）。
　　退場時にアンケートに回答いただいた。
・来場人数：6 月 28 日（日）55 名／6 月 29 日（月）39 名　計 94 名
　　※受付簿の記載でカウント

【当日の様子】

・１日目（６月 28 日）



写真１　全体説明の様子



写真２　パネル・模型展示の様子

・２日目（６月 29 日）



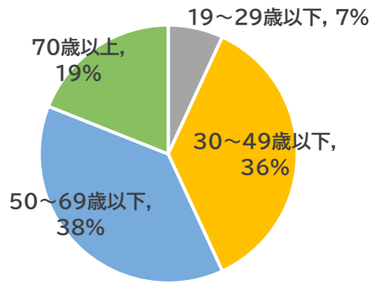
写真３　全体説明の様子



写真４　パネル・模型展示の様子

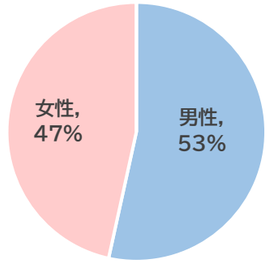
来場者の属性（アンケートより　回答総数：　N=58）

【年齢】



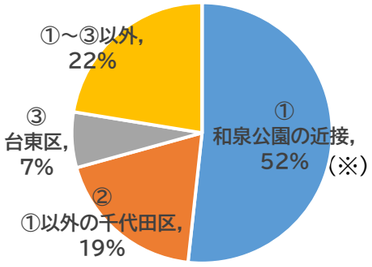
・30～49 歳以下、50～69 歳以下が約４割ずつ

【性別】



・男性、女性ともに５割程度ずつ

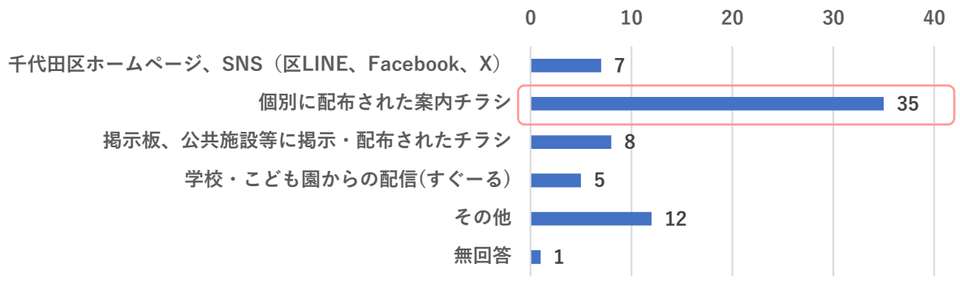
【居住地】



・和泉公園の近接（※）にお住まいの方が５割以上

※和泉公園の近接：神田和泉町、神田佐久間町 2～4 丁目、神田平河町、神田佐久間河岸、東神田 3 丁目

【今回の説明会の開催を何で知りましたか。】（複数回答可）

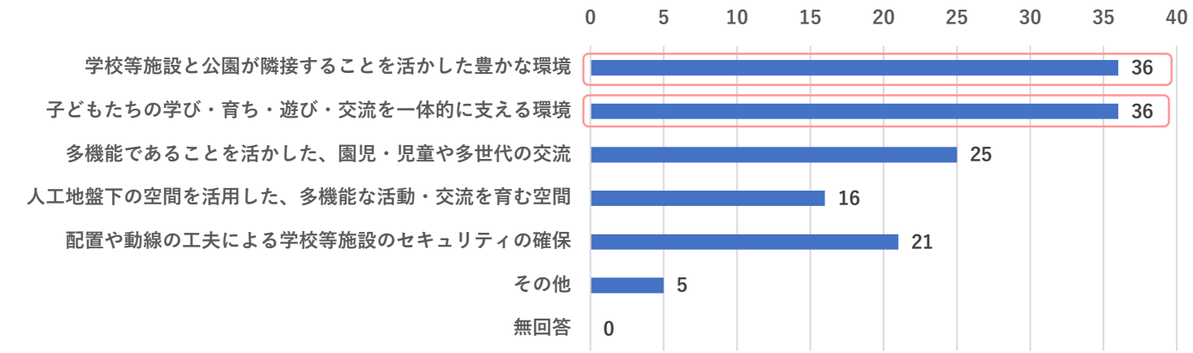


・個別に配布された案内チラシが多く、千代田区ホームページ、SNS（区 LINE、Facebook、X）や掲示板、公共施設等に掲示・配布されたチラシも一定程度。

＜その他の記述＞　※()内は回答数
・広報千代田（3）
・ちよだパークサイドプラザ内で勤務（2）
・職場の人に聞いた
・隣でミーティングしていた
・町会から聞いた

来場者の意見（アンケートより　回答総数：N=58、複数回答可）

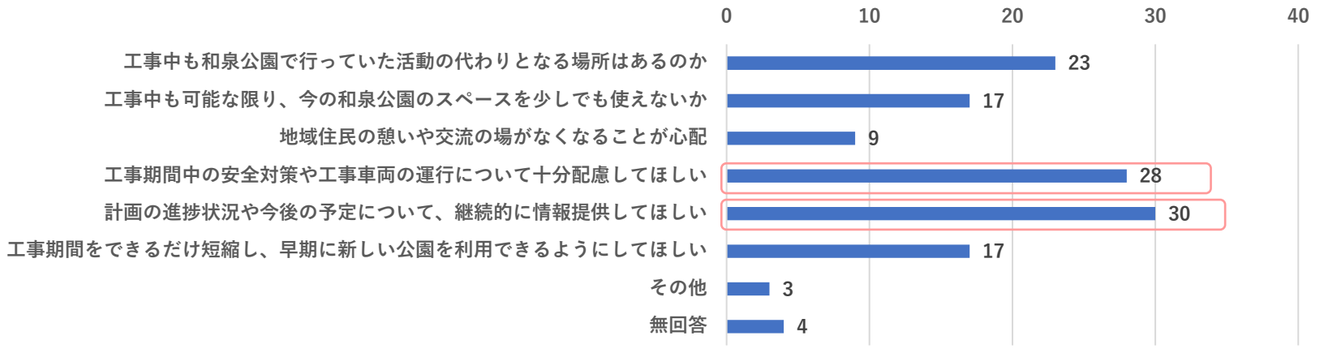
【基本計画(素案)（学校等施設や公園の導入機能やイメージ等）について、どのような機能、空間に関心がありますか。】



・学校等施設と公園が隣接することを活かした豊かな環境、子どもたちの学び・育ち・遊び・交流を一体的に支える環境が最も多い
・次いで、園児・児童や多世代の交流、セキュリティの確保についての回答が多い。

＜その他の記述＞
・子どもの安全と学習を第一に考えてほしい
・住民への思いやり
・区民(近所)利用の施設は、どのようなものが建設されているか。
・防災

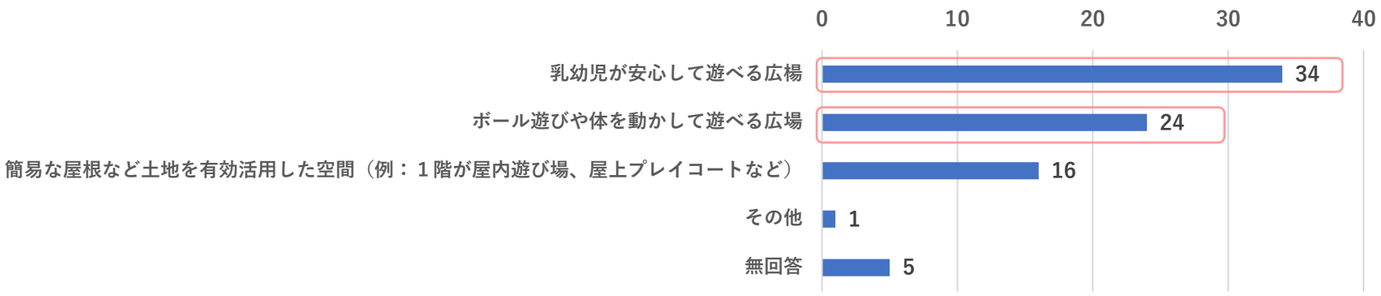
【工事期間中のご心配や気になる点について教えてください。】



・継続的な情報提供、工事期間中の安全対策や工事車両の運行についての配慮が多い。
・次いで、和泉公園で行っていた活動の代わりとなる場所があるのかについて気になる方が多い。

＜その他の記述＞
・避難場所の確保。桜の木はどうなるのか。
・台東区の公園を使用したりできないか検討してほしい。
・災害時の避難場所(広場)の確保はどのようになるか

【旧和泉町ポンプ跡地について、工事期間（和泉公園の休止期間）中の子どもの遊び場等として活用を検討しています。限られたスペースの中で最も期待する活用方法を教えてください。】



・乳幼児が安心して遊べる広場が最も多く、次いでボール遊びや体を動かして遊べる広場が多い。

＜その他の記述＞
・水遊びが出来るスペースを

■主な意見

（１）新施設の計画についてのご意見

①施設全体

・子どもがいる世代からすると、施設が充実するのはよい。
・パブリックスペースが十分とれていると思う。
・病院がいる中で、公園側に建てる必要あるのか。
・良い小学校を整備して人を呼べるようにしたい。
・千代田区なので、日本をリードする最先端の施設としてほしい。
・学校と市民の共有スペースが多いため、セキュリティ対策は考えてほしい。
・外部からの侵入、子どもへの安全対策をしてほしい。
・佐久間学校通りは、数年前に歩道の拡張をして車道が狭くなっている。セットバックをするのであれば、学校行事のバスの停車スペースを確保できないか。
・緊急車両、工事車両が佐久間学校通りの交通に影響しないよう、処理方法を検討してほしい。
・児童が使用するトイレについて、洋式トイレを増やしてほしい。地域交流も大切だが、子どもたちのことを第一に考えてほしい。
・少子化の中で、子どもの数が減っても有効に活用できるスペース・施設であってほしい。
・設備等が古いので新しい施設になることを期待している。
・人工地盤を用いた校庭と公園の活用は良い案だが、屋根付きでフリーなスペースなので、ホームレスが宿泊する心配がある。明るく清潔な空間にすること、普段から有人警備にするなど、対策が考えられる。また、警察、福祉事務所、道路公園課、環境まちづくり総務課との連携も大切かと思う。
・校庭・公園はとにかくたくさん日影ができるように設計してほしい。今後ますます温暖化で日光の下での活動は危険になっていくと思う。
・教職員や保育士の皆さんとたくさん意見を出し合い、さらに良い空間にしてほしい。

②小学校

・給食を調理している姿が子どもたちに見てもらえるような配置になると良い。

③こども園

・園庭は、今より広くなり、子どもたちが十分に体を動かすことができるスペースがあると嬉しい。
・乳児、幼児のエリアが別の階になるのではなく、同じ階で交流ができるとつながりが生まれる。

④こどもプラザ

・事務室から各部屋が見渡せると良い。現状もそうなっている。
・小学生の利用形態としては、①学童クラブ、②プラザ帰り、③一回家に帰ってプラザに来る（一般来館）の３パターンがあり、いずれの利用方法にも対応できるレイアウトであってほしい。
・一般来館の子は、学童保育室に入れないため、①～③の小学生が一緒に出て遊べる場が必要。
・児童館に遊びに来た一般来館の子どもが自由に過ごせる場と保育（学童）の部屋は別のものとしてしっかりほしい。
・乳幼児の利用形態は、一時預かり、乳幼児（親子）の一般来館である。
・乳幼児が遊ぶことができる場所、授乳室が必要。０～１歳の部屋に加え、幼児室が別であるのが理想ではある。
・一時保育と学童が混ざってしまうと、乳幼児の保育とお昼寝に影響がありそう。動線の混在や隣り合った配置にならないようにレイアウトできると良い。
・中高生タイムは、乳幼児の一般来館時間終了後の運用である。
・図工室は絶対にあったほうが良い。
・小学校図書室とこどもプラザはつながらなくても良い。管理も難しい。
・遊戯室の壁、天井はボール遊びを見込んだ丈夫なものが望ましい。階高は、現状程度確保できると良い。
・プレイルームは、ボードゲームなどができるなど、多目的な利用が可能な空間としてほしい。
・図書室はプレイルームとペアが良い。
・多目的室が保育室や図書、図工室と同じフロアが良い。
・相談室が事務室に近い方が良い。更衣室は事務室に近い必要はない。

⑤地域利用施設について

・プールは観覧スペースをつけてほしい。
・プールは、幼児も利用しやすいように可動床にしてほしい。
・図書室を大きくして、地域の学習環境を良くしてほしい。
・一般利用できる広い図書館をつくって、学習環境を整えてほしい。
・洪水時には浸水するため、備蓄倉庫は２階が良い。
・図書館に自習・閲覧スペースを確保してほしい。
・カフェがあると良い。
・子どもの学習部屋が確保しにくい家庭もあると思うので、親も入れる区民専用の自習室や学習室があると良い。
・ベビールーム(授乳室)とは別に、おむつ替えスペース、給湯器、レンジなどの設備があると嬉しい。

（２）新公園の計画についてのご意見

①日常利用

・四季を感じる豊かな自然があり、こども園でもよく利用する。豊かな自然は、そのままにしてほしい。
・日影は多い方が良く、じゃぶじゃぶ池は夏にしか使わないのだから、庇下に配置するのが良いのではないか。
・じゃぶじゃぶ池は良い施設だと思うので、新しくできる公園にも是非つくってほしい。
・子どもの遊び場事業（週２回）など、公園でのボール遊び用のネットフェンスが必要ではないか。
・冬の公園の土埃を改善してほしい。
・公園の土埃が酷過ぎる。芝を養生しながら使うなど、芝をしっかり生やして土埃を抑えてほしい。
・公園の 24 時間開放は安全面から不安。
・死角をつくらないピロティとしてほしい。防犯が心配。
・犬等、動物の安易な放し飼いが出来ないようにしてもらいたい。
・三井記念病院の入口がどこか迷う方が多い。和泉公園内には、病院への誘導サインがあると良い。

②イベント、行事などの利用

・納涼大会の存続は必須である。イベントのためのインフラ（電気）は忘れずに整備してほしい。

・イベント等で公園を使用するため、施設、電気、水道等のインフラを充実してほしい。

③防災、災害時の利用

・公園と学校の一体整備の利点を活かして、防災・災害時の拠点となるような施設整備として欲しい。

④公園の設え（みどり、路面、遊具、遊び場など）について

・長いローラーの滑り台を設置してほしい。
・ふわふわドームを設置してほしい。
・遊具の充実を考えてほしい。
・自然豊かな、一年中花がある公園になってほしい。
・さらに木々や花などが増えるとよい。
・ゆっくりできそうな場所になってほしい。人工芝でスケートボードができないようにしてほしい。
・公園の桜を背景に卒園式の記念写真を撮るなど、桜は多くの人の思い出に残る大切な存在。卒業・卒園シーズンにはセレモニーらしい雰囲気も演出できるため、ぜひ桜を植えていただきたい。
・樹木は大切にして、なるべく残してほしい。公園にも思い入れや思い出がある。

⑤周辺敷地への配慮

・隣が公園になることで生じる問題への対策はしてほしい。防犯、防災上も課題がある。
・南風が吹くと、竜巻のような風が発生するのではないか。
・子どものボール遊びへの懸念がある。隣接敷地内のガス管をよじ登る、ボールが通行人に当たる等が、かつてあった。
・隣接敷地のテナントビルには食品を扱うテナントも入居しているため、トイレがすぐ横にくることは避けてほしい。整備にあたっては、よく周辺の声を聞いてほしい。
・施設と公園が入れ替わることで新たに公園に面する敷地に落ち葉や土埃が来ることが心配である。
・病院と隣接する場所のフェンスを高くしてほしい。ボールがよく飛び越えてくる。

（３）工事期間中の配慮等についてのご意見

①工事スケジュール

・埋蔵文化財の事前調査が必要なのではないか。早期の試掘調査実施を検討すべき。
・公園が８年も使えないことが問題。
・なるべく工事期間を短縮し、和泉公園を早く使えるようにしてほしい。

②安全性の確保

・佐久間学校通りには、工事車両を停車させないようにしてほしい。通りの歩道拡幅により車道幅が狭くなった。
・前面道路に車を駐車する、物資を置くなど、交通の支障になることは絶対やめてほしい。
・小学生の登校は東側からアクセスする児童が９割のため、登下校時間の車両出入は制限する避ける必要がある。
・工事期間中の車両など十分に配慮してほしい。

③騒音などへの配慮

・工事中の騒音には十分配慮してほしい。できる限り音を小さくしてほしい。
・建物解体に伴うネズミへの対応が必要である。

④工事期間中の防災対策

・公園を活用した避難訓練ができなくなる。
・工事中に災害が発生した際の避難計画をしっかり検討してほしい。

⑤公園機能の代替

・和泉公園の代替の一つとして秋葉原公園は、駅近くの酒場やカフェなどのお店が多く、風紀上心配がある。対策を検討してほしい。
・校庭の休日利用は事前申請が必要となる。申請なしに一般に開放することは、小学校のセキュリティ確保の観点から難しいのではないか。
・校庭の開放は、こども園やこどもプラザ利用者などに限定してはどうか。
・佐久間公園は、木があるのは良いが、夜に明るくしてほしい。夜に暗く、大人がウロウロしていること等があり怖い。今のままでは代替公園として利用できるイメージが湧きにくい。
・ボール遊びができる場所があると良い。

⑥その他

・南北の通り抜け動線、自転車やベビーカーなどすれ違いができる程度の幅を確保してほしい。
・工事期間中及び完成後も、放置自転車対策として、駐輪場の整備をお願いしたい。
・工事期間中は周辺の住民に気を配ってほしい。

（４）和泉公園の代替機能としての活用を検討している旧和泉町ポンプ所跡地について

・旧和泉町ポンプ所跡地は区境にあるため、区外の利用が多くなるだろう。
・代替スペースにおいても安全で快適に子ども達が利用できる遊び場を確保してほしい。
・旧ポンプ所跡地までの動線を安全にしてほしい。
・代替スペースにじゃぶじゃぶ池を設置してほしい。
・じゃぶじゃぶ池を設けるなら、佐久間公園が良いのではないか。
・佐久間公園は、代替機能を確保する上で重要である。現状は、高架や建物に囲まれ薄暗い印象があり、喫煙所もあるため、子どもが安心して遊べる場所にしてほしい。

（５）一体的整備の実現に向けて

・進捗状況の情報提供はこまめに行ってほしい。
・施設と公園の敷地入れ替えに伴い、横断歩道の位置も考慮してほしい。
・佐久間学校通りの拡幅工事に伴い歩道部の緑陰が減少し暑くなった。緑陰の確保など、暑さ対策はよく検討してほしい。
・オープンハウスのみでは地域の声が拾いにくい。説明会も必要ではないか。
・いずれは整備しなければならない話が、このタイミングで来たということ。多少の不都合は発生するだろうが推進してほしい。